

福岡県
ムスリムフレンドリー
ハンドブック
～ムスリム旅行者おもてなしガイド～

発行：福岡県ムスリム施策推進協議会

福岡県 企画・地域振興部 国際局
〒812-8577 福岡県福岡市博多区東公園7番7号



福岡県
ムスリムフレンドリー
ハンドブック

～ムスリム旅行者おもてなしガイド～



はじめに

福岡県では、近年増加しているアジア等のムスリム圏からの観光客への理解を深め、外国人観光客を誘致し、地域経済の活性化につなげるために、「ムスリムフレンドリー（※）」な地域になることを目指し、取り組みを行ってきました。

その取組の1つとして作成しているこの「福岡県ムスリムフレンドリーハンドブック」は、ムスリムの基礎知識や県内での取組事例などについて掲載したものです。

各市町村や宿泊施設、飲食店などの外国人観光客の受入れに携わる皆様に、ご活用いただければ幸いです。

※ ムスリムフレンドリー…ハラール認証などの基準に則った対応ができない場合であっても、原材料などの情報提供を適切に行い、判断はムスリムに委ねるなど、一人ひとりの気持ちを尊重しながら、おもてなしをする考え方。

福岡県 企画・地域振興部 国際局

目次

ムスリムを知ろう！	03
ムスリムの基礎① - ムスリムって何？ -	03
ムスリムの基礎② - ムスリム旅行者の現状 -	03
ムスリムの基礎③ - 教えと生活習慣 -	05
福岡県ムスリムフレンドリーの取組	07
①取組の概要	07
②ムスリムフレンドリー施設／店舗の取組	08
③市町村と連携した事例	09
目指そう！ムスリムフレンドリーなまちづくり	10
取組事例	11
ムスリムフレンドリードリル	13
ドリルの解説	14

※ムスリムの習慣には地域差や個人差などがあります。
本ハンドブックはあくまで基礎的な情報に基づく対応の一例を示しているものです。
※本ハンドブックは特定の宗教や企業等の勧奨を目的としたものではありません。

ムスリムを知ろう！

ムスリムの方々が快適に過ごしていただけるよう、まずはムスリムやムスリムを取り巻く環境についての理解を深めましょう。

ムスリムの基礎① - ムスリムって何？ -

① ムスリムとは、イスラム教を信仰している人のこと

ムスリムとは、イスラム教徒のことです。イスラム教には、生活習慣に関する様々な教えがあり、ムスリムはその教えに基づいて生活しています。その解釈や実践方法は、宗派や国・地域、文化、個人により異なります。

② ムスリム人口は、世界の4人に1人 ～特にアジアに多い～

現在、全世界に19億人以上のムスリム（イスラム教徒）がいると言われています。世界最大のムスリム人口を持つ国はインドネシアで、総人口のうち9割近くの2億4千万人がムスリムです。また、マレーシアでは国の宗教がイスラム教とされています。

ムスリムの基礎② - ムスリムって何？ -

① インドネシア・マレーシアからの訪日旅行者が増加

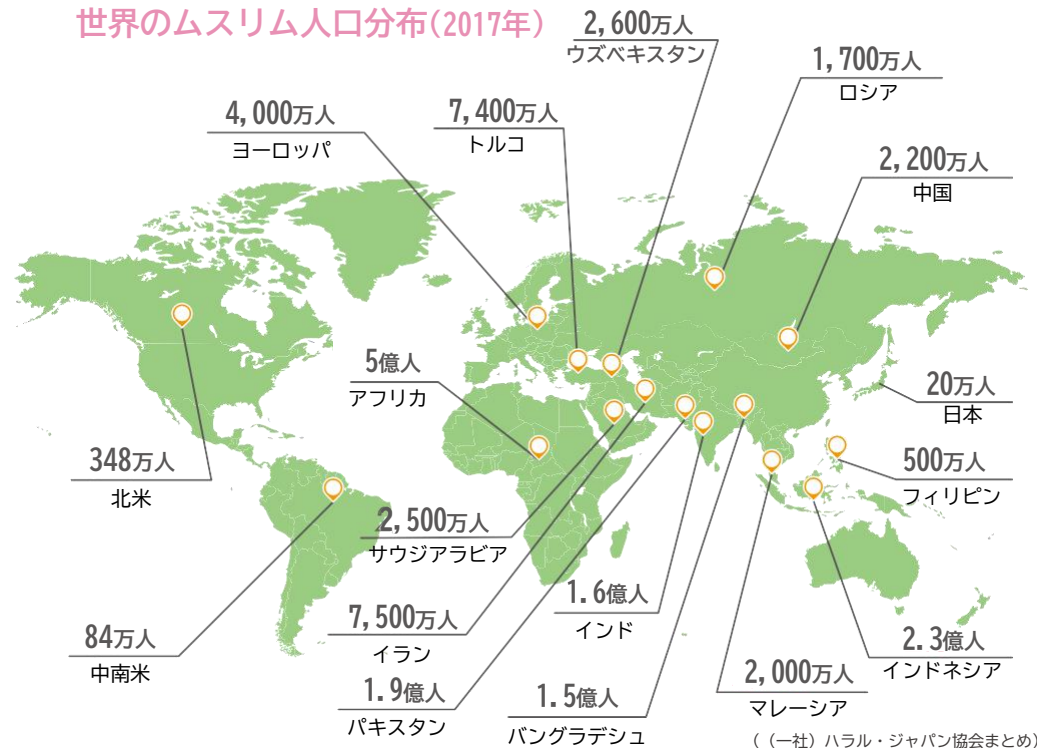
経済発展やビザ緩和などを背景に、東南アジアからの訪日旅行者が増えています。特に、インドネシア・マレーシアなどイスラム圏からの旅行者が著しく伸びています。



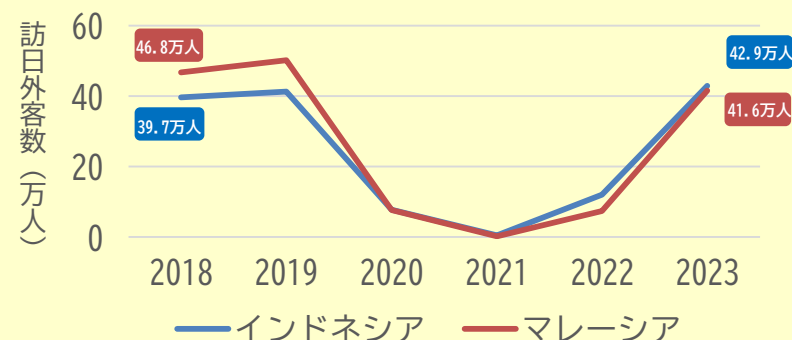
② 特に福岡では、マレーシアとの間に直行便就航 ～旅行者の増加が見込まれる～

2019年3月、福岡～クアラルンプールの直行便（週4往復）が就航しました（注：2025年6月現在、運休中）。

世界のムスリム人口分布(2017年)



インドネシア、マレーシアからの訪日旅行者



(日本政府観光局(JNTO))



ムスリムの基礎③ - 教えと生活習慣 -

ムスリムは、あらゆる場面でイスラム教の教えに基づいて生活をしています。

生活全般にハラール（許された行為・物）とハラーム（禁じられた行為・物）という考え方に基づく規範があります。ムスリムはハラームを避けて生活すべきとされており、例えば、食における代表的なハラームには豚肉やアルコール飲料があります。

① 豚肉を口にしない

イスラム教の教えでは、豚肉（豚由来成分を含む）を口にすることは許されていません。



豚肉使用禁止
Non Pork

② お酒を避ける

アルコール飲料を口にすることは避けるべきだとされています。料理酒・みりんなどの調味料にも注意が必要です。



飲酒禁止
Non Alcohol

③ 1日5回の礼拝

夜明け前、昼、午後、日没時、夜の1日5回メッカの方角に向け礼拝を行うことが決められています。正確な時間は、日の出、日の入り時間により毎日異なります。また、礼拝は清潔な場所で体を清めて行います。旅行中は、礼拝の回数を減らしたり、時間を短くしたりする方もいます。



④ お風呂の案内には配慮を

ムスリムには、異性との接触は好ましくないという教えがあります。また、家族以外に素肌を見せることを嫌がる方が多いため、男女とも大浴場を避ける傾向にあります。家族風呂へ案内するなど、プライバシーが守られるよう配慮が必要です。



この他にも、気をつけておきたい教えや習慣があります。

ムスリムのマナーをできるだけ把握して、より良いおもてなしにつなげていくことが大切です。

参考情報

「ムスリムおもてなしガイドブック」（観光庁）
(https://www.mlit.go.jp/kankocho/seisaku_seido/kihonkeikaku/inbound_kaufuku/ukeire/kankochi/shukyo/tayo.html)

福岡県ムスリムフレンドリーの取組 「できることからスタート」

① 取組の概要

ムスリムの習慣には地域差や個人差などがあり、ムスリム向けの対応に統一の基準があるわけではありません。

また、ハラール認証※1などの厳しい基準をすべて満たすことは、現実的に困難なところがあるかと思われます。

そこで、福岡県では、まずは「できることからスタート」することを基本方針として、県内の宿泊施設や飲食店等のご理解をいただきながら、ムスリムフレンドリー※2な地域づくりを推進してきました。

※1 ハラール認証…イスラム教と食品衛生の専門家が、特定の食品等をハラールであるかどうか判断し保証する制度

※2 ムスリムフレンドリー…ハラール認証などの基準に則った対応ができない場合であっても、原材料などの情報提供を適切に行い、判断はムスリムに委ねるなど、一人ひとりの気持ちを尊重しながら、おもてなしをする考え方

● 取組フロー

ムスリムを歓迎する店舗を発掘

ムスリムの基礎的な知識を
学習するセミナーを開催

ドリルで知識を確認

福岡県ムスリムフレンドリー店舗として登録

ムスリム向けウェブサイトで情報発信



② ムスリムフレンドリー施設／店舗の取組

地域の飲食店や宿泊施設を対象としたセミナーを開催し、専門家による講演やドリル（13ページ掲載）等により、ムスリムの基礎を学んでいただきました。「福岡県ムスリムフレンドリー施設／店舗」として登録いただいた店舗では、「できることから」取り組んでいただいています。

● ムスリムフレンドリーの取組例

- ① ムスリム歓迎(Muslim Welcome)の表示をする
- ② メニューに「ノンポーク」、
「ノンアルコール」の表示をする
- ③ 写真入りメニューや英語表記の
メニューを作成する
- ④ 調味料にアルコールを使用している
場合などはその旨を表示する
- ⑤ 予約があれば、ムスリム向け料理
を提供する



おもてなしは情報提供から

ムスリムが自ら選べるよう、判断材料となる情報を正確に伝えることが重要です。お店でできることを、分かりやすく伝える工夫をしていきましょう。

③ 市町村と連携した事例

柳川市のうなぎや太宰府市の梅ヶ枝餅といった地域の特産品に着目し、各市役所や観光協会と連携しながら、地元のうなぎ屋組合、梅ヶ枝餅組合に働きかけを行いました。

セミナーや戸別訪問を通じて、ムスリムの基礎知識や対応のポイントなどを学んでいただき、それまでムスリムへの対応を意識していなかった店舗におかれても、それぞれの実情に応じて、無理のない取組をスタートしていただいています。



(店舗戸別訪問)



(観光協会でのセミナー)

太宰府市 ～梅ヶ枝餅店24店舗が取組をスタート～

〔民芸ぎやらりー 茶房かさの家〕

セミナーに参加し、食材などを簡単に伝えるだけでも、ムスリムへのおもてなしになることが分かり、名物梅ヶ枝餅のメニューにノンポーク・ノンアルコールのシールを貼っています。お餅の中身が分からずお困りのムスリムの方にも、安心して召し上がっていただければ嬉しいです。



ノンポーク、ノンアルコールシールを貼ったメニュー

柳川市 ～うなぎ料理店9店舗が取組をスタート～

〔古蓮〕

うなぎ料理はタレにみりんや料理酒を使いますが、タレを煮沸していればお召し上がりになる方もいるということをセミナーで学びました。当店では、食品サンプルにノンポークマークを付け、スマホから閲覧できる外国語メニューも準備しています。ぜひ美味しいうなぎを楽しんでいただきたいです。



食品サンプルにノンポークマークを表示

目指そう！ムスリムフレンドリーなまちづくり

今後増加が見込まれるムスリム旅行者が、地域の観光スポットを訪問するだけでなく、食事や宿泊等を行い、できるだけ長く滞在すれば、地域の活性化にもつながります。

難しい対応をしなくても、ムスリム旅行者のニーズに応えられることもあります。ここではムスリムフレンドリーなまちづくりを行うための大事なポイントを紹介します。市町村や関係機関の皆様に参考にいただき、各地域の特色を生かしながら、それぞれの実情に合わせた取組を進めていただければ幸いです。

① ムスリムを歓迎する店舗／施設を発掘

- ※地域の商工会や観光協会、飲食店組合等と連携すると効果的
- ※店舗や施設が無理なくできることを見つける
- ※地域の特産品に着目してみる

② ムスリムの基礎を学ぶ ～地域の皆さんに知ってもらいましょう～

- ※本ガイドブックを活用（巻末のドリルでチェック）
- ※「ムスリムおもてなしガイドブック」（観光庁）等を参考に
- ※必要に応じて専門家による店舗向けセミナーや相談会を実施

③ できることからスタート ～少しの工夫がセールスポイントに～

- ※おもてなしの基本は店舗の情報提供
- ※正しくわかりやすい情報発信を心がける
- ※少しずつできることを増やしていく

④ 店舗の情報を国内外に発信

- ※海外旅行者向けウェブサイトで発信
（一社）ハラル・ジャパン協会 <https://muslim-guide.jp/>
クロスロードふくおか（インバウンド協力店）
<https://www.crossroadfukuoka.jp/en/inbound-shop>
- ※店舗の写真やメニューを掲載すると効果的

取組事例

うどん・そば たけ屋 (久留米市)

「筑後うどん」を世界中の方に食べていただきたいとの思いから、英語表記のメニューを作成しています。特にムスリムの方々がお困りにならないよう、使用している食材や調理方法が英語で伝わるよう工夫しています。例えば「きつねうどん」は「Hot noodles in soup, topped with fried tofu skin」と表記しています。併せてノンポークシールも活用して、ムスリムの方に安心して注文していただいています。



(店舗入口のムスリム歓迎の表示)



(英語併記のメニュー)

竹乃屋 吉塚店 (福岡市博多区)

多様な食文化を持つお客様の増加を見据え、一部のメニューについて、ハラール対応の肉や調味料等を使用したムスリム対応商品への変更を行っています。

メニューブックには、当店のムスリム対応の方針について説明した「ムスリム対応ポリシー」を掲載のうえ、ムスリム対応商品であるメニューにⓂマークを付けることで、ムスリムのお客様が注文をする際の参考とさせていただけるようにしています。



(ムスリム対応ポリシーの記載)



(ムスリム対応商品を示すⓂマーク)

原鶴温泉 六峰館 (朝倉市)

日本の文化を感じられる和風の部屋や、ベッドを備えた和洋室などを用意しており、多くの外国のお客様に利用していただいています。大浴場を好まれない方にはお風呂付のお部屋にて、ゆっくりと温泉を楽しんでいただいております。また事前に相談していただければ、お食事についてもできる限りノンポーク・ノンアルコールで準備して、地域の旬の食材を召し上がっていただけるよう心がけています。



(お風呂付のお部屋)

(公財)福岡県国際交流センター 礼拝スペース (福岡市中央区アクロス福岡)

福岡市天神地区には、大変多くの外国人の方がお越しになりますが、お祈りする場所がなく不便に感じる方もおられたようです。そこで、当センター内にどなたでも利用できる「礼拝スペース」を設置しました。2名程度がお祈りできる広さで、イラストや多言語案内の掲示により、ひと目で礼拝スペースだと分かるよう工夫をしております。利用される方も徐々に増えてきています。



(礼拝スペース外観)



(礼拝スペース内観)

ムスリムフレンドリードリル

ムスリムの基礎知識をおさらいして、おもてなしにお役立てください。

※正しいと思うものを○で囲んでください

- | | | | |
|----|---|----|-----|
| Q1 | イスラム教の教えの解釈や実践方法は個人によって大きく異なる。 | はい | いいえ |
| Q2 | ムスリムを受け入れるには必ずハラール認証取得が必要だ。 | はい | いいえ |
| Q3 | ムスリムは豚肉を食べることができる。 | はい | いいえ |
| Q4 | ムスリムはアルコール飲料を飲むことができる。 | はい | いいえ |
| Q5 | ムスリムに提示するドリンクメニューは、アルコール飲料が区別できるものがよい。 | はい | いいえ |
| Q6 | ムスリムの対応では、ムスリムに情報をしっかり届けることが大事である。 | はい | いいえ |
| Q7 | イスラム教には、異性との接触は望ましくないという教えがある。 | はい | いいえ |
| Q8 | 多くのムスリムにとって、温泉の大浴場などで家族以外に素肌を見せることに特段抵抗はない。 | はい | いいえ |
| Q9 | ムスリムは、1日5回決まった時間に礼拝することが定められている。 | はい | いいえ |

ドリルの解説

Q1 イスラム教の教えの解釈や実践方法は個人によって大きく異なる。
A. はい

ムスリムはそれぞれの心と神との約束事に背かないように日々暮らしています。その約束事の解釈や実践方法には個人差があります。

Q2 ムスリムを受け入れるには必ずハラール認証取得が必要だ。
A. いいえ

イスラム教と食品衛生の専門家が、ハラールであるかどうかを判断し保証するのが「ハラール認証」という制度です。ムスリムにとっては、ハラール認証マークは安心の印となりますが、ハラール認証の基準に則った対応ができない場合であっても、原材料などの情報提供を適切に行い、判断はムスリムに委ねるなど、一人ひとりの気持ちを尊重しながらおもてなしをすることが大切です。

Q3 ムスリムは豚肉を食べることができる。
A. いいえ

ムスリムは豚肉を食べません。また、豚肉以外の牛肉、馬肉、羊肉、鶏肉でも、イスラム教で示された方法で屠畜されていない場合は口にすることを避けるべきとされています。このため、食材の情報を正確に伝えることが大切です。

Q4 ムスリムはアルコール飲料を飲むことができる。
A. いいえ

ムスリムはアルコール飲料を飲みません。料理酒やみりんなどのアルコール添加調味料も敬虔な方は嫌う場合がありますので、それらを使用している旨情報を提供することが大切です。なお、煮沸（アルコール成分が蒸発）している場合も同様です。

Q5 ムスリムに提示するドリンクメニューは、アルコール飲料が区別できるものがよい。
A. はい

メニューは、別々に作る必要はありませんが、ソフトドリンクなのかアルコール飲料なのか、明確な表示が必要です。

Q6 ムスリムの対応では、ムスリムに情報をしっかり届けることが大事である。
A. はい

ムスリムが自ら選べるように判断材料となる情報を正確に届けることが、ムスリムフレンドリーな対応となります。具体的には、英語メニューや食材の表記、写真の添付、ピクトグラム(図)でのノンポーク・ノンアルコールの表記があると良いです。

Q7 イスラム教には、異性との接触は望ましくないという教えがある。
A. はい

家族や親せき以外の異性との接触は、避けるべきという教えがあります。異性に対しては、相手から求められる前に握手をすることは避けたほうがよいでしょう。

Q8 多くのムスリムにとって、温泉の大浴場などで家族以外に素肌を見せることに特段抵抗はない。
A. いいえ

基本的に夫婦以外では、肌は見せないとされています。このため、家族風呂へ案内するなど配慮が必要です。

Q9 ムスリムは、1日5回決まった時間に礼拝することが決められている。
A. はい

ムスリムは、1日5回メッカの方角を向いての礼拝を行う決まりがありますので、礼拝ができるスペースを用意すると喜ばれます。旅行中は礼拝の回数を減らしたり、時間を短くしたりする方もいます。